



あいちのスタートアップ

イノベーション特集 PART 01

愛知県議会議員

かわしま太郎 県政レポート Vol.24

スタートアップとは、AIなどの最先端の技術を活用し、新しい革新的なビジネスモデルを用いて急成長を目指す企業であり、また、エコシステムとは、本来は生態系を意味するものの、経済分野においては、地域資源が有機的に結び付き、循環する中で、自立的に成長、発展していく成り立ちを意味します。

我が国の経済を取り巻く環境は、グローバル化はもとより、IoTや生成AIの出現を伴ったデジタル化、またSDGsの社会的要請など、激しく変化しており、愛知県においても、主要産業である自動車産業のCASE、MaaSにはじまる100年に一度の大変革期とされる、IoT、AIなどのデジタル技術の急伸を伴った地域産業経済構造の歴史的転換期を迎えております。

このような状況の中で、愛知県が引き続き日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードしていくためには、スタートアップを起爆剤とするイノベーションの創出と、この創出の流れを自立的、自然的な成り行きとしていくために、エコシステムを組成し、新しい地域の社会システムとして形成していく必要があります。

今回、次回の2回にわたり、愛知県の新しい産業振興の柱となるスタートアップ・イノベーション施策について紹介いたします。

あいちのスタートアップ・イノベーション施策について

STATION Ai を中核としたイノベーション・エコシステムのグランドデザイン ～国際的なイノベーション創出拠点の形成にむけて～

- 愛知県では、あいちスタートアップ・エコシステムの形成を目的とする「**Aichi-Startup 戦略**」と、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を目的とする「**革新事業創造戦略**」との二つの戦略を**両輪として**、国内外のスタートアップ・エコシステムのネットワークを融合し、愛知県の国際イノベーション都市への飛躍に向けて取り組んでおり、**2024年10月には、国際的なイノベーション創出の中核拠点としてSTATION Ai を開業した。**
- 「**STATION Ai プロジェクト**」として、国内スタートアップ支援機関等と連携したスタートアップの支援を進める**①スタートアップグロース支援機能**、国境を超えて英知を集める**②グローバル連携支援機能**、社会課題の解決と地域の活性化に取り組む官民連携プロジェクトを進める**③ソーシャルイノベーション創出支援機能**を、STATION Ai 内でそれぞれ始動させ、これら3つの機能を融合させることにより、ここ愛知に**国際的なイノベーション・エコシステムを形成していく。**

・民間提案を起点とした社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を支援
・デジタルヘルス、スポーツ等の既に立ち上がっているイノベーションプロジェクトの推進を図る

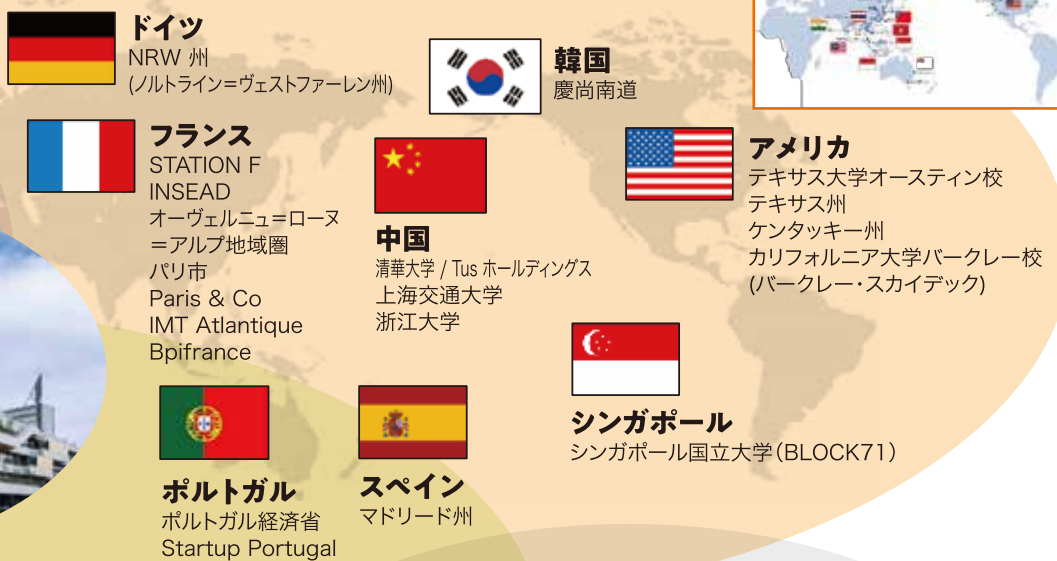
・県が連携する8か国、20の支援機関、大学を中心とする海外スタートアップのSTATION Ai 誘引を促進
・海外連携先機関や支援スタートアップ来日時の国内活動支援

③ソーシャルイノベーション創出支援機能



②グローバル連携支援機能

8か国、20の大学やスタートアップ支援機関等と連携



国内パートナー・エコシステム

Tokyo Innovation Base

東三河スタートアップ推進協議会
ウェルネスバレー推進協議会
刈谷イノベーション推進プラットフォーム
尾張共創コンソーシアム

東京都との連携

STATION Aiパートナー拠点

- emCAMPUS STUDIO
- Idea Stoa 名古屋大学共創スタジオ
- STATION Ai
- 東海国立大学機構名古屋大学
ディープテック・リアルイノベーションセンター
- TOIC NAGOYA
- NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE

- 名古屋工連携インキュベーター NALIC
- MUSASHI Innovation Lab CLUE
- なごのキャンパス
- 名古屋大学オープンイノベーション拠点 OICX
- MIDLAND INCUBATORS
- Startup Garage
- Co-startup Space & Community FUSE

インキュベーション施設



地域総合戦略「Aichi-Startup 戦略」2025年10月31日現在

①スタートアップグロース支援機能

・スタートアップ・エコシステム形成に向け、スタートアップの裾野拡大を促進
・県内外における各地域のスタートアップ支援に取り組む機関・大学等との連携を推進

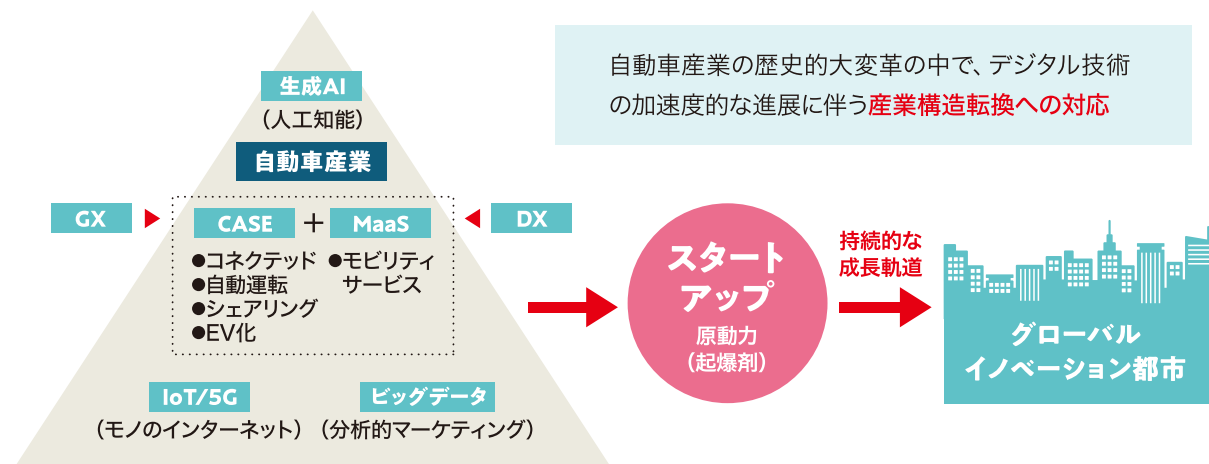
スタートアップ・エコシステム
グローバル拠点都市

Aichi-Startup戦略の枠組み

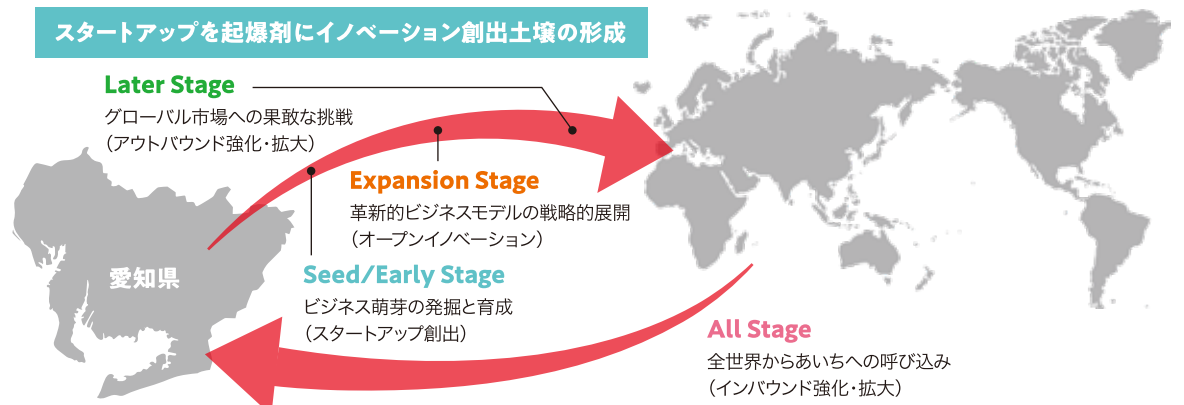
Aichi-Startup戦略の概要

- 愛知県独自のスタートアップ・エコシステム形成に向け、2018年10月に「Aichi-Startup戦略」を策定（2025年3月改定）。企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、行政など関係機関・大学の推進施策をパッケージ化。
- スタートアップの創出・育成・世界進出への流れと、有力スタートアップを世界から誘引する流れの二方面から展開。
- 政策全体を「**STATION Aiプロジェクト**」と位置づけて、「STATION Ai」を中核に、パートナー拠点との連携を通じて、愛知全体でイノベーション創出の土壌を形成。
- 農業、健康福祉、環境分野などでの社会課題解決と地域の活性化に向け、ソーシャルスタートアップの参画、ソリューション提供の仕組みを構築。
- 海外のスタートアップ支援機関・大学等との連携（現在、20機関・大学）を強化し、世界最有力のスタートアップ・エコシステムとの融合により、世界に類例のない**国際的なイノベーション創出拠点**を目指す。

あいちスタートアップ・エコシステムの背景



Aichi-Startup戦略の理念・目的



Aichi-Startup戦略が目指す5つの展開方向

- 展開方向1：オープンイノベーション推進による現行産業の付加価値創造**
SUの革新的技術／革新ビジネスモデル ← CVC, SVC → 地域の事業会社（モノづくり事業等）
M&A業務提携
カープアウト／スピンオフ／社内起業によるSU創出
- 展開方向2：スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成**
SUによる新産業の創出 → ユニコーンへの成長 → IPO／M&A
VC、エンジェル等による資金供給
- 展開方向3：革新事業の創造による社会問題の解決と地域の活性化**
スタートアップや事業会社がテーマ別イノベーションプロジェクトに参画し、社会問題の解決と地域の活性化を図るとともに、オープンイノベーションとスタートアップの育成を実現。
- 展開方向4：事業継承・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進**
現行事業会社の事業継承・第二創業等を機会とする、革新的新ビジネス展開支援（イントレプレナーシップの育成）
- 展開方向5：グローバル・エコシステム形成の推進**
海外支援機関・大学との連携拡大による施策を強化し、海外市場への展開サポート。

- 世界トップレベルの愛知の地域経営資源の提供
- 自動車産業群
- ロボット／航空／宇宙／ヘルスケア産業群
- 大学等の高等教育機関
- 国立研究所 高度研究機関等

出所：Aichi-Startup戦略 説明資料（愛知県作成）

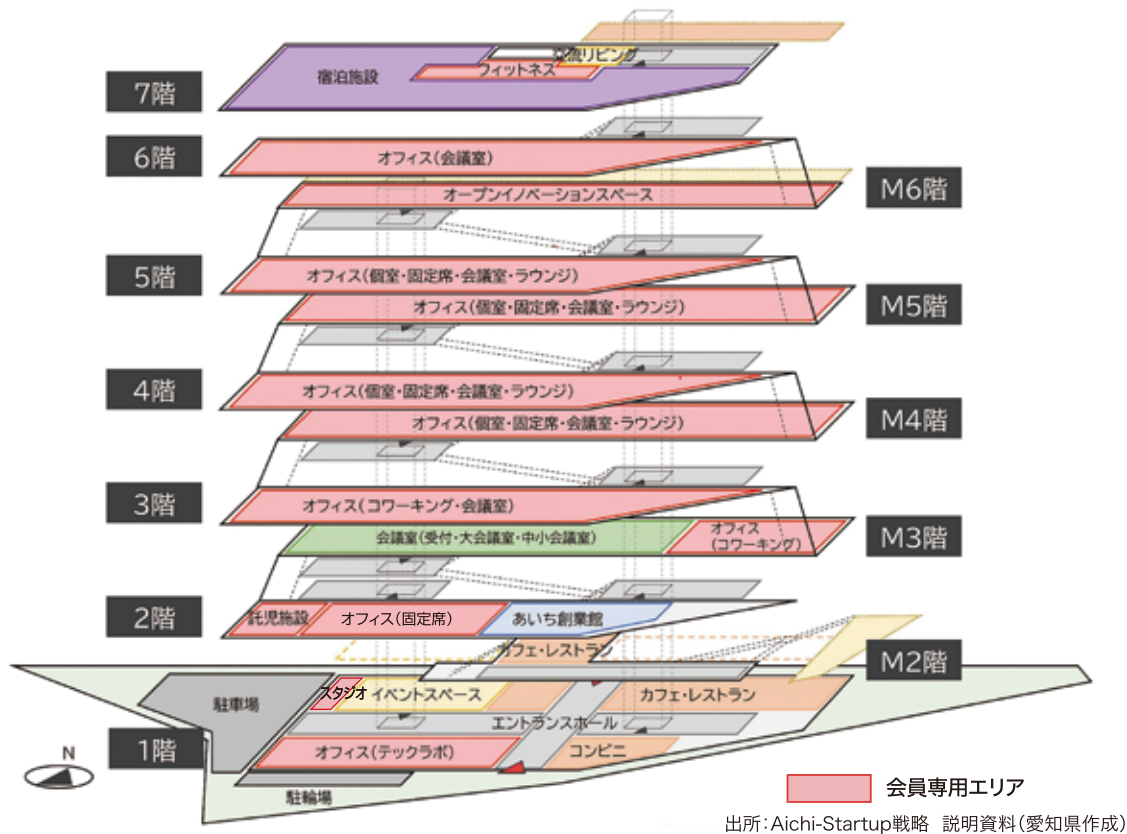
2024年10月オープン

スタートアップ支援拠点「STATION Ai」の運営

- STATION Aiでは、スタートアップに必要な施設機能と支援プログラムをワンストップ・ワンルーフで提供し、スタートアップへの支援等を推進することで、開業5年後をめどにスタートアップ1,000社の集積を目指しており、世界最大のスタートアップコミュニティを形成する。
- 世界でも最先端の技術・ノウハウを保有するモノづくり企業やノーベル賞受賞者を輩出する大学など世界から注目されるような技術力・研究力を持った企業・大学等が本県に多数集積していることから、これらをパートナー企業等としてSTATION Aiへ誘引し、**スタートアップとのオープンイノベーションを促すことで、新たな価値創造を図る。**



施設構成・フロアマップ



出所: Aichi-Startup戦略 説明資料 (愛知県作成)

スタートアップ向け支援メニュー

コミュニティマネージャーがスタートアップの状況を確認し、適切に支援サポート。

- 事業相談・グロース支援
- 資金調達相談
- グローバル展開支援
- オフィスツール優待
- 土業等専門家相談
- 採用・人材支援
- 行政相談
- ファンド出資

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

- 知事のイニシアチブのもと**8か国、20の世界でも先進的なスタートアップ支援機関・大学等とMOUを締結するなど連携体制を深化**。これら連携機関の協力により、愛知県のスタートアップ・エコシステムの加速・拡大に向けた具体的なプログラムが進行。

「MOU」とは

「Memorandum of Understanding」の略で、日本語では「基本合意書」または「了解覚書」と訳されます。企業間取引(特にM&Aなど)において、正式な契約を結ぶ前の段階で、取引の基本的な条件について双方の合意を文書化したものです。MOUの目的は、その後の交渉の指針とし、認識のずれやトラブルを防ぐことです。

フランス
STATION F
INSEAD
パリ市
Paris&Co
IMT Atlantique
Bpifrance
オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏

ドイツ
NRW州

アメリカ
テキサス大学オースティン校
テキサス州
ケンタッキー州
カリフォルニア大学バークレー校
(バークレー・スカイデック)

韓国
慶尚南道

スペイン
マドリッド州

中国
清華大学 / Tus ホールディングス
上海交通大学
浙江大学

ポルトガル
ポルトガル経済省
Startup Portugal

シンガポール
シンガポール国立大学(BLOCK71)

【主な連携プログラム】

連携機関	国	主な取り組み
テキサス大学オースティン校	アメリカ	県内スタートアップを対象とした北米展開ハンズオン支援
カリフォルニア大学バークレー校	アメリカ	同校のメンターを招聘し、県内スタートアップの北米展開支援に向けたアクセラレーションプログラム【新規】
シンガポール国立大学 (NUS)	シンガポール	NUSが運営するインキュベーション施設BLOCK71と連携し、県内事業会社と東南アジアスタートアップとの協業を促進するプログラム NUS主催のアントレプレナープログラムへの県内大学生の派遣
STATION F	フランス	STATION Aiの運営に対するアドバイス
INSEAD	フランス	県内事業会社の新規事業担当者向けオープンイノベーションプログラム
清華大学/Tusホールディングス	中国	中国スタートアップと県内事業会社とのマッチングプログラム

愛知県における国内スタートアップ支援事業

「Aichi-Startup戦略」に基づき、起業やスタートアップの成長、オープンイノベーション、スタートアップ・エコシステムの形成における様々な課題を解決するためのプログラムを**STATION Ai株式会社と一体となって展開し、世界で最もイノベーションが創出されやすい環境を愛知県に構築。**

	事業名	ステージ*	内容
STATION Ai事業	包括型支援 会員を対象に提供する支援	Seed Expansion	●メンター、コミュニティマネージャーによる、相談・支援等の総合支援 ●人材採用支援 ●ギルドの運営や勉強会、ピッチイベントの開催によるコミュニティの構築 ●「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」によるスタートアップへの投資
	特化型支援 主に会員を対象に経営課題や成長フェーズごとに特化して提供する支援	Seed Early	●社会人向け起業家育成プログラム「ACTIVATION Lab」 ●学生向け起業家育成プログラム「STAPS」 ●プレシード向け支援プログラム「STATION Ai Catapult」 ●重点領域プログラム「Aichi Manufacturing Acceleration Program」・「Aichi GX Acceleration Program」 ●オープンイノベーション支援プログラム「SKIP Focus」
エコシステム形成事業	裾野拡大 あいちスタートアップスクール	—	小中高生を対象に、模擬会社設立ワークショップなど、各世代に応じた起業家育成プログラムを実施
	AICHI STARTUP BATTLE	Seed	起業確度が高い者等を対象として、知見・資金両面でサポートする、起業支援一体型の起業家ビジネスプランコンテストを実施
	AICHI NEXT UNICORN LEAGUE	Seed Early	成長見込みの高い創業初期のスタートアップを対象に、ピッチコンテストを開催し、事業推進に必要な資金を提供
	あいちスタートアップ創業支援事業費補助金(起業支援金)	Seed	県内で新たに起業する者等に対し、創業に関する資金を補助するとともに、事業成長に向けた伴走支援を実施
	東海研究開発1号投資事業有限責任組合への出資	Seed Expansion	名古屋大学と岐阜大学を運営する東海国立大学機構の孫会社である株式会社 Central Japan Innovation Capitalが組成する「東海研究開発1号投資事業有限責任組合」への出資
	AICHI DEEPTech LAUNCHPAD	Seed Early	破壊的イノベーションを創出し、社会課題を解決する可能性が高いディープテックスタートアップの技術の社会実装支援及び、有望なディープテックスタートアップが連続的に創出されるエコシステムの形成
	ダイバーシティ推進事業	Seed Expansion	多様な人材の集積と交流を通じたイノベーション創出を目的に、女性起業家支援等のダイバーシティを推進するプログラムを実施
	イベント TechGALA Japan	—	本県のスタートアップ・エコシステムの魅力をグローバルに発信するため、国内外のスタートアップ、事業会社、投資家等が一堂に会するグローバルイベントを開催
外部機関連携	県内連携 STATION Ai パートナー拠点事業	—	愛知県内各地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む機関等をSTATION Ai パートナー拠点と位置づけ、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を促進
	県外連携 ※国外機関を除く	—	東京都との連携協定を通じて、県外の優れた知見を積極的に取り入れ、スタートアップ支援の質をさらに高め、イノベーションの創出を加速

※スタートアップの成長ステージについて

【Seed】……………創業期。コンセプトやビジネスモデルは存在するが、具体的な製品やサービス自体は未完成の状態。

【Early】……………事業化初期。製品やサービスを実際に開発し、リリースを始めた状態。

【Expansion】………成長期。製品やサービスの販売が軌道に乗り、黒字化が見えてきた状態。

出所: 国内スタートアップ支援事業の成果及び今年度事業について (愛知県作成)

STATION Aiパートナー拠点の設立と地域支援

1. 目的

愛知県内各地域において、地域特性や強みを生かしてスタートアップを起爆剤としたイノベーション創出に主体的に取り組む機関等を**STATION Aiパートナー拠点**とし、**STATION Aiとの相互の連携・協力関係の構築**を進めていく。さらに、STATION Aiパートナー拠点から、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を目指す。

2. 事業内容

- スタートアップ支援に取組む自治体・関係機関等を支援する**エコシステム形成支援統括マネージャー**を配置し、**STATION Aiパートナー拠点の設立を促進。**
- 統括マネージャーが各地域の行政、企業、大学等の人材を繋ぎ、**県内全域でのスタートアップ・エコシステムの形成を促進。**

STATION Ai パートナー拠点とは

- 各地域の特性や強みを生かしてスタートアップを起爆剤としたイノベーション創出に主体的に取り組む機関等
- STATION Aiと相互に連携・協力してネットワークの構築を図る地域のハブ

STATION Aiパートナー拠点 (イメージ)



※パートナー拠点のコミュニティ内で関与が期待される地域のプレイヤー

STATION Aiパートナー拠点との連携内容

STATION Aiが提供できるリソース例

- スタートアップ向け支援プログラムの提供
- STATION Aiネットワークを生かした様々なプレイヤーとの交流 等

各地域が提供できるリソース例

- 地元企業を事業共創パートナーとして紹介
- 実証実験フィールドの提供 等

STATION Aiパートナー拠点の実績

東三河スタートアップ推進協議会 (2021年10月)

- 会長: 神野吾郎 東三河広域経済連合会会長
- 東三河地域の産学官で構成

ウェルネスバレー推進協議会 (2023年9月)

- 会長: 荒井秀典 国立長寿医療研究センター理事長
- 大府市及び東浦町にまたがる健康長寿関連機関等で構成

刈谷イノベーション推進プラットフォーム (2024年11月)

- 代表: 稲垣武 刈谷市長
- 刈谷市を中心に地元経済団体等で構成

尾張共創コンソーシアム (2025年9月)

- 会長: 豊島半七 一宮商工会議所 会頭
- 尾張地域の7つの商工会議所で構成

統括マネージャーによる支援内容の例

AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM

- 県内の自治体やスタートアップ支援機関等が「地域パートナー」として参加し、地域課題の解決をスタートアップと共に目指す事業共創プログラム。

出所: Aichi-Startup戦略 説明資料 (愛知県作成)